

### 加工組合への研修を終えて

1月25日に佐用町乃井野にある三日月特産加工組合へ研修に行つて来ました。6次産業を目指す当営農組合にとって、とても有意義な研修でした。

今回の視察研修は、地元の農産物を使用して加工品の製造販売を行っている先進地での視察研修を実施し、今後当組合も年間を通じた作業体系を確立し、収益の増大と地域の活性化を図ることを目的に実施しました。今後は、具体的に加工品目とその施設を検討し、事業として新しい地域ブランドづくりを進めて、年間を通じて稼働する作業体系が必要となります。加工事業を行うには円滑に運営できる体制づくりと、女性の協力が不可欠となります。



味の里三日月の前にて



研修中



熟成中の味噌



蒸しあがった大豆



米麹



材料(米)の貯蔵庫

### 1月・2月の事業報告

- 10日 増田製粉・市とピザ焼き体験打合せ
  - 11日 ステップアップ事業研修会出席
  - 13日 志方東小学校へピザ焼き体験の協力依頼
  - 14日 そば打ち体験(JAしかた支店ふれあい委員会)
  - 20日 三日月加工組合へ視察研修 14名参加
  - 24日 リース車入庫・京都府農業委員会視察研修の為来訪 18名
  - 26日 東播磨ヘアリーベッチ米研究会出席 (JA経済本部)
  - 27日 定例理事会
  - 28日 綿摘み 18名参加 (女性有志及び役員)
  - 29日 ピザ焼き試作 (役員・増田製粉・TANTO屋・市・女性有志)
- 
- 1日 ふれあい委員会出席 (にじいろふぁーみん)
  - 4日 綿人作り活動発表会 (ウエルネージかこがわ)
  - 5日 ニーズに応える米作り研修会出席 (兵庫みらい本店)
  - 6日 小麦種子栽培視察研修 6名参加
  - 6日 長野県高山村農業委員会視察研修の為 17名来訪
  - 8日 加古川市集落営農組織連絡協議会視察研修 東広島市へ
  - 9日 JA兵庫六甲神出町集落営農連絡協議会視察研修の為来訪
  - 17日 佐賀県(農)本庄東部視察研修の為 12名来訪
  - 21日 6次産業指導研修 (本店)
  - 25日 志方東小学生のよるピザ作り体験 (大沢公会堂)

### しかたちゃん号登場!



志方東営農組合のマスコット「しかたちゃん」

当営農組合に組合専用の車が入りました。今後の運営上、リース車を採用する事に決定しました。また街で見かけたら声をかけてネ!



### 綿花栽培について

来年度、全国コットンサミットに加古川市が名乗りを上げております。ちなみに今年度は長野県高山村で開催されました。地元で収穫したコットンを利用してあらゆる製品の展示、そこに至る過程などの発表等、盛大に開催されたようです。加古川市では今年の11月18日開催が決定しています。今後、これに向かっての施策が多方面にわたって練られると思います。が、当営農組合にも綿花栽培の



ピザ用石窯

自分で作ったピザを窯へ

生地を綿棒で伸ばす

### ピザ作りに挑戦!



神戸市の増田製粉所から提供頂いたピザ粉

2月25日大沢公会堂にて志方東小学校の児童及び父兄、先生方によるピザ作り体験が行われました。志方東地区で収穫された小麦(ゆめちから)から製粉されたピザ粉を使って、生地作りから挑戦しました。子供達も全く初めての経験でしたが、美味しそうに焼き上がったピザを見て大喜びでした。小麦を使っての地産地消、又、子供たちへの食育という事で、少しでも地域への貢献が出来たように思います。



長野県高山村からの来訪者へ当営農組合の取組みを説明する黒田代表

依頼が来ており現在約40アールの栽培を計画しております。今回は市からの補助もあり栽培することもできますが、コットン事業を今後定着させるためには、まだまだ課題が沢山あります。今後の流れをよく注視しながら取組む方法を検討していきたいと思っております。

# 支店だより

昔懐かしい麦踏み風景  
(広尾東支店)

## 岡支店



深耕・谷上・除草剤散布同時播種 大豆中耕・除草剤同時散布

6次化へ向かつては、原材料の安定生産無くして、次へのステップはありえないと考えております。播種技術の模索・省力化（工程一元化）の確立と安全で安定（生産・経営）に挑んでいます。

- Step1. 原材料の安全・安定生産の確立
- Step2. 技術の取得
- Step3. 流通経路の考察
- Step4. 人材の育成
- Step5. 資金調達の洞察
- Step6. 設備の構築

安定生産に向か  
って一歩ずつ！

## 中才支店

小麦収穫量一番を目指して！



中才支店の全耕作面積は約 10 ヘクタールです。その内、麦耕作面積は毎年約 5ヘクタールです。耕作面積が少ない中ですが、水稻、小麦を栽培し休耕田を無くすため日々努力しています。小麦の収穫工程は、前年度までは播種時に省力化の肥料散布を行っていましたが、29年度は播種時、1月、2月の3回に肥料散布を実施し、収穫増量に向け取組みを行っているところです。

(写真は1月28日に肥料散布を実施している様子です)

## 高畑支店

今年も牛糞堆肥を投入！



高畑地区は鹿児の華米栽培田に、2年毎に牛糞堆肥を基肥として投入しております。コスモスマつりの終了後、業者が搬入、散布後すぐに逆転ロータリーで深耕しています。天候の加減で終了するまでに大変時間がかかる年もあり、匂いの件で苦情もありますが、皆さんに迷惑がかからないよう出来るだけ早くにすき込み、対処しています。作業班一同頑張っておりますので、今後ともご協力よろしくお願ひいたします

## 東飯坂支店

今後は大豆の安定した収穫量を確保！



★昨年は大豆を初めて栽培し、役員の方に指導を仰ぎながら12月に収穫し、出荷することが出来ました。今後も頑張って作付面積を増やしていきたいと思っています。

★今年のお麦は、シロガネお麦を約6ha、ゆめちからを約2.1haを作付しています。現在は1月18日に追肥を行い順調に生育しています。

★東飯坂地区でも猪の被害が増えてきており、組合員の皆さんに猪についての講習会及び防護柵設置講習会を受講していただきました。行政の補助を受け、約500mのワイヤーメッシュ柵の設置を計画しています。

今回は、高畑、岡、東飯坂、中才支店の現在の状況を報告します。どの支店も農閑期のため目立った作業等は行われていませんが、高畑支店では、毎年この時期には牛糞堆肥を投入し、土づくりに重点を置いた事業が行われています。現在、当営農組合としても、化学肥料一辺倒だった農業から脱皮しようとヘアリーベッチ等の緑肥を利用した水稻、大豆栽培に取り組んでいます。将来、化学肥料を一切使わずに育てた水稻、大豆を材料にした味噌づくりを考えております。環境に優しいお米「志方健やか米」とともに当営農組合のブランドとして売り出す計画も進行中です。今後とも各支店へのご協力よろしくお願ひいたします。